

**デジタル田園都市国家構想交付金事業  
(地方創生推進タイプ)  
担当課による効果検証結果**

## デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

事業No.1 モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト …1ページ

事業No.2 「諏訪湖創生推進拠点」を核とした諏訪湖の魅力向上・発信プロジェクト …6ページ

# デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	1	担当課	商工課
交付対象事業名	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト (SUWAモノ・ヒトプロジェクト)	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
総合戦略での位置付け	一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生 2 創造都市 ～Creative City～ をつくる (2) 地域の資源、創意工夫を活かした新産業・新事業の創出		
地方創生として目指す将来像	諏訪圏5市町村は県を代表するものづくりの集積地であり、当該区域の第二次産業従事者割合は全国平均を大きく上回っている。また、企業の成長の原資となる付加価値額を業種別に見ても各市町村とも製造業の占める割合が一番高く、製造業が当該地域における一つの基幹産業となり、地域経済を牽引している。 こうした当該地域の強みである製造業の持続的な発展を維持するためには、企業の成長の原動力となる人材の確保が最も重要である。また、継続的に人材を確保するためには、当該地域の製造業が誇る技術力・応用力の向上と併せて、地域全体のブランド価値を高め、ものづくり人材を惹きつける力もつける必要がある。そのため、「SUWA独自のキャリア・サイクルモデル」を構築することで、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む経済好循環の確立を図る。		
地方創生の実現における構造的な課題	諏訪圏5市町村は、他の地方都市と同様、少子高齢化・若年層の都市部への流出に伴い、域内企業の人材確保が困難な状況が続いており、企業の成長停滞や存続自体を脅かす事態に迫られる恐れがある。 さらに、当該地域における2次産業を生産額で見ると「電気機械」「一般機械」「輸送用機械」の割合が高く、経済産業省が実施した企業アンケート調査によると、5年後技術者が不足すると予想される分野として、機械工学が一番高い結果となっており、今後、大手企業も含めて若年層理系人材の取り合いが激化し、2045年を待たずして地方都市ではより一層人材確保が困難になる可能性がある。		
具体的な取組内容	1. SUWAブランドの普及・高付加価値化事業 ・地域商社の機能の運用開始 ・市場を理解し売れるものづくり手法や効果的なホームページ作成方法、航空・医療・環境等成長産業参入、技術力を活かした製品開発等を学ぶ稼ぐ力の向上のための人材育成・勉強会等の開催 ・国外を含めた地域内外への受注獲得支援や展示・商談会の開催等によるビジネスマッチング支援 ・SUWAブランド(小型ロケット製作を通じて得られた技術等を含む)の知名度向上に向けた総合発信拠点の仕組み作り ・地域内の大学・高校等と連携した域内企業等の情報発信 ・関東経済産業局等と連携し、航空・医療・環境等成長産業等に関するシーズ・ニーズマッチングを実施  2. 関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保事業 ・若年層向けのキャリア育成プログラム及び教材等の開発、実施(広域的なものづくり機会・学習機会の創出) ・大学等と連携した地域内企業へのインターンシッププログラムの実施 ・県内大学生等の小型ロケット製作等への参加による諏訪圏企業のPR及び就職の場の提供 ・諏訪圏外在住者の小型ロケット製作等への参加 ・小型ロケット製作等による技術力向上、新素材の加工技術、IoTの基盤となる通信技術・計測制御技術、ビックデータ活用技術の習得等を通じた提案型技術者の育成 ・関係人口等の創出に向けた若年層等を対象としたロケットに関するイベントの実施 等		
令和4年度交付金事業実績額	6,020,000	円	令和5年度交付金事業予算額
			0
			円

# デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	1	担当課	商工課
-----	---	-----	-----

交付対象事業名	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト (SUWAモノ・ヒトプロジェクト)	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
---------	---	--------	----------------------------

重要業績評価指標 (KPI)				
指標名	基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (計画最終年度)
NPO諏訪圏ものづくり推進機構を介したビジネスマッチング件数	目標値	50 件	65 件	75 件
	実績値	30 件	38 件	83 件
	目標達成度	76.0%	60.0%	110.7%
	感染症拡大による影響	トヨタ自動車において新技術・新工法展示商談会が対面にて開催されたため、昨年まで低調だったビジネス件数は大幅な増となった。		
若年層を対象とした事業の参加人数	目標値	700 人	750 人	800 人
	実績値	250 人	397 人	565 人
	目標達成度	29.4%	52.9%	70.6%
	感染症拡大による影響	感染対策を実施しながらの事業が定着してきたことから、参加人数も伸び実績につながっている。		
新卒・第2新卒者(UIJターン含む)等の地域内企業への就職者	目標値	60 人	70 人	75 人
	実績値	0 人	210 人	169 人
	目標達成度	350.0%	241.4%	212.0%
	感染症拡大による影響	感染症の影響が長期化しており先の見えない不安感から大学、専門学校等への進学が増えている可能性もある。		
粗付加価値額	目標値	2,325 億円	2,334 億円	2,343 億円
	実績値	2,315 億円	2,257 億円	2,343 億円
	目標達成度	97.1%	0.0%	0.0%
	感染症拡大による影響	サプライチェーンの毀損など感染症拡大による影響を受けており、令和2年度の粗付加価値額は、目標を下回った。		

感染症拡大による事業への影響	<p>小中学生等を対象としたモデルロケットワークショップについては、感染症対策を講じることにより、例年に比べて参加人数を大幅に伸ばすことができた。小中学生へものづくりの楽しさを伝えながら次世代の人材を育成することは、非常に重要である。諏訪圏域の企業への就職を視野に入れたキャリアデザインが描けるような取り組みが必要。</p> <p>また、トヨタの「新技術・新工法展示商談会」については、3年ぶりの対面による開催となった。現地で実際に商談を行える強みは大きく、ビジネスマッチング数も増加した。継続の商談もあるため、今後の成約件数が増えることを期待したい。感染症の影響により、Webを通じた商談もおおくなっているが、WEB・対面それぞれのメリットを生かした営業活動が重要であり、企業のデジタル化といった時代に即した対応も求められる。</p> <p>技能資格取得者を増やし提案型技能人材の育成していくため、一般的なテキストや映像だけでは理解しにくい製造工程やポイントをアニメーション化したわかりやすい教材を作成した。コロナ禍で対面型の研修が減る中、確かな技術を確実に継承するよう積極的な活用につなげる。</p> <p>コロナにより新たな課題が顕在化された部分もあり、各企業の自己変革力が一層求められる。行政としてのサポートも重要となると考えられる。</p>
----------------	---

# デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	1	担当課	商工課
-----	---	-----	-----

交付対象事業名	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト (SUWAモノ・ヒトプロジェクト)	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
---------	---	--------	----------------------------

事業効果	<b>③地方創生に効果があった</b>
判断理由	<p>「新卒・第2新卒者(UJターン含む)等の地域内企業への就職者」、「NPO諏訪圏ものづくり推進機構を介したビジネスマッチング件数」についてのKPIは、目標を上回っている。コロナ禍で感染対策を講じた事業が定着してきた結果と捉えている。</p> <p>諏訪圏の素晴らしい技術を持っている複数の企業と連携して最先端の完成品(ロケット)を作製することで、諏訪圏の技術力を広くPRすることができた。これを契機に他地域との受注開拓といった新たな販路につながることを期待している。また数字としては見えにくい部分ではあるが、小中学校でのモデルロケットの作製や打ち上げ等を通じて、ものづくりの楽しさや宇宙工学への興味・関心が醸成していると考えている。</p>

<事業効果> ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった  
③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった

今後の方針	<b>⑤予定通り事業終了</b>
判断理由	<p>若年層のものづくりに対する関心、ひいては諏訪地域への関心醸成を図り、地域内企業への就職を促進することを目的に事業を実施してきた。小型ロケット製作を通じた提案型技術者の育成では、個別技術の高度化による技術力の向上が図られた。今後は、習得した技術力を応用した新たな製品開発や販路拡大につなげる営業力に期待したい。</p> <p>環境・エネルギー分野参入支援事業については、新規参入はもとより、サプライチェーン(供給網)全体でのカーボンニュートラル達成に向けた中小企業の本格的な対応を求められることが想定される。今後は、省エネによるコスト削減、資金調達手段の獲得、製品や企業の競争力向上など経営力の強化が重要。</p> <p>今後の事業展開においては、各自治体で実施している事業を有機的に連携させ、販路開拓支援、シーズ・ニーズマッチング支援、魅力創出・発信を通じ、若年層を呼び込んでまいりたい。</p>

<今後の方針> ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続  
④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

◎小型ロケット制作を通じたものづくり技術の高度化と人材育成



R5年3月19日 ロケット打ち上げ当日の様子

R4年12月14日

湖南小学校にて開催

SUWA小型ロケットプロジェクト

ワークショップ



R4年12月20日 国際連携特別講義

University of Utah (米国)のJohn N Matthews





## デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	2	担当課	生涯学習課・環境課 (事業主体:長野県)
交付対象事業名	「諏訪湖創生推進拠点」を核とした諏訪湖の 魅力向上・発信プロジェクト	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交 付金(地方創生推進タイプ)
総合戦略での 位置付け	基本方針②観光 “SUWAらしい”があふれる観光地		
地方創生として 目指す将来像	「諏訪湖創生ビジョン(2018年に長野県が策定)」が掲げる20年後の目標である「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現と、諏訪湖を中心にしたSDGsの具現化を目指し、諏訪湖を、「美しく」「豊か」で「持続可能」な公共財として魅力を磨き上げ、積極的に活かしながら、広く内外に情報発信していくことで諏訪地域のブランド力を向上させ、諏訪湖を活かした観光振興を図る。		
地方創生の実現に おける構造的な課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪湖を目的とした観光客数は県内主要観光地のうち第3位であるものの、諏訪地域全体の観光消費額は県平均以下と低迷しており、要因として日帰り旅行が大半を占めていることが挙げられる。大都市圏からのアクセスの良さを強みに、滞在型観光に転換する必要がある。</li> <li>・諏訪湖においては、行政区域が3市町にまたがり、湖の管理は県が行っている状況から、面的な諏訪湖の観光情報の発信や観光誘客を図るビジターセンター的な拠点が無い。</li> <li>・2000年頃よりヒシが大量繁殖し、景観を損ね、悪臭を発生させている。改善には集中的・継続的な研究が必要であるが、県や大学等の様々な機関がそれぞれで研究を行っているため、一元的なデータ活用等が必要である。</li> <li>・昨今、水質が改善したことにより、地域住民や子どもたちの間で、諏訪湖に対する関心や諏訪湖に触れ合う機会が低下しており、シビックプライドを持つ住民の養成が課題である。</li> </ul>		
諏訪市の 具体的な取組内容	<p>○諏訪湖をテーマにした講演会開催等(生涯学習課) 諏訪湖の生きものや生態系など、諏訪湖の魅力などに関する講演会を計画し、著書『わけあって絶滅しました。』の図鑑制作者 丸山貴史氏を講師に諏訪市文化センターにおいて、諏訪湖に生息する生物についてや諏訪湖にも絶滅危惧種がいるのかなど諏訪湖の生態系についてお話をいただいた。 当日は、講師の著書から興味を持った親子から諏訪湖の生物等に関して関心のある年配者まで幅広い年齢層の約150名の方が聴講者に訪れた。</p> <p>○諏訪湖環境保全事業(環境課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上川アレチウリ駆除作業 平成26年度より毎年ボランティアを募集し、上川右岸車橋下で実施している。作業に参加していただくことで、アレチウリ駆除の重要性を啓発し、自然環境保全への意識醸成を図る。 【令和4年度実績】 実施日: R4.6.18 参加者: 23人 駆除量: 160kg</li> <li>・諏訪湖ヒシ除去作業(トヨタソーシャルフェス) 平成21年度より毎年ボランティアを募集し、新川河口付近を中心に実施しており、平成25年度からは信濃毎日新聞社と共催で「アクアソーシャルフェス(H30よりトヨタソーシャルフェス)」として、学習会とヒシ除去作業の複合イベントとして開催している。また、除去したヒシは堆肥化している。 【令和4年度実績】 実施日: R4.7.2 参加者: 100人 除去量: 760kg</li> <li>・諏訪湖浮遊ごみ除去作業 平成26年度より諏訪市セーリング協会の協力のもと、毎年実施している。令和4年度は新たな取組として、一般ボランティアを募集し、カヤックに乗ってごみを回収するというアクティビティ要素を付加した作業とした。 【令和4年度実績】 実施日: R4.10.16 参加者: 43人 除去量: 45kg</li> </ul>		
令和4年度交付金事業 実績額	<b>906,542</b> ・生涯学習課630,579 円 ・環境課275,963	令和5年度交付金事業 予算額	<b>1,411,000</b> ・生涯学習課953,000 円 ・環境課458,000



# デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	2	担当課	生涯学習課・環境課 (事業主体:長野県)
-----	---	-----	-------------------------

交付対象事業名	「諏訪湖創生推進拠点」を核とした諏訪湖の魅力向上・発信プロジェクト	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
---------	-----------------------------------	--------	----------------------------

## 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (計画最終年度)
諏訪地域観光消費額 (R4: 前回御柱祭開催時を目標) (R5: 前回御柱祭翌年の数値を目標)	目標値	35,417 百万円	39,844 百万円	36,290 百万円
	実績値	35,417 百万円	23,050 百万円	百万円
	目標達成度	65.1%	0.0%	0.0%
	感染症拡大による影響			
諏訪湖創生推進拠点ホームページへのアクセス件数(累計)	目標値	0.3 万件	1 万件	3 万件
	実績値	0 万件	0.2960 万件	0.5423 万件
	目標達成度	98.7%	54.2%	0.0%
	感染症拡大による影響			
諏訪湖に関するイベント等(セミナー、アクティビティ体験等)の開催回数 (回/年)	目標値	23 回	26 回	30 回
	実績値	20 回	17 回	24 回
	目標達成度	73.9%	92.3%	0.0%
	感染症拡大による影響	これまで新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたイベントが徐々に開催されるようになったことからイベント数や参加人数等が上昇している。		
諏訪湖に関するイベント等(セミナー、アクティビティ体験等)の参加人数 (人/年)	目標値	2,500 人	3,000 人	4,000 人
	実績値	2,000 人	2,772 人	8,998 人
	目標達成度	110.9%	299.9%	0.0%
	感染症拡大による影響	これまで新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたイベントが徐々に開催されるようになったことからイベント数や参加人数等が上昇している。		

感染症拡大による諏訪市の事業への影響	<p>○諏訪湖をテーマにした講演会開催等(生涯学習課) 検温、手指消毒や座席を一席空けにするなどに感染対策を講じた上で行った。本事業への影響はなかったと考える。</p> <p>○諏訪湖環境保全事業(環境課) R3は事業の大幅な規模縮小を余儀なくされたが、R4はコロナ禍前の水準で実施できた。</p>
--------------------	---

## デジタル田園都市国家構想交付金事業 効果検証シート

No.	2	担当課	生涯学習課・環境課 (事業主体:長野県)
-----	---	-----	-------------------------

交付対象事業名	「諏訪湖創生推進拠点」を核とした諏訪湖の 魅力向上・発信プロジェクト	交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交 付金(地方創生推進タイプ)
---------	---------------------------------------	--------	--------------------------------

### 【生涯学習課】

事業効果	<b>②地方創生に相当程度効果があった</b>
判断理由	市内小中学校の児童生徒にチラシ等で周知を行ったが、予定していた人数よりも少なかったことは反省事項となったが、諏訪湖について学習する機会として多くの方が来ていただいたことで効果があったものと考えている。

### 【環境課】

事業効果	<b>②地方創生に相当程度効果があった</b>
判断理由	ヒシ除去作業や浮遊ごみ除去作業については、市内外から老若男女問わず大勢参加いただき、諏訪湖と触れ合うことで幅広く諏訪湖に対する理解を深めていただく機会となった。

＜事業効果＞ ①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった  
③地方創生に効果があった ④地方創生に効果がなかった

### 【生涯学習課】

今後の方針	<b>③事業の継続</b>
判断理由	講演会に続き、諏訪湖に係る歴史資料の展示やフォーラムなど、普及活動の手段を変えて取り組むことで、探究的な学びの機会を提供するとともに、諏訪湖を通じたシビックプライドの醸成に期待したい。

### 【環境課】

今後の方針	<b>③事業の継続</b>
判断理由	諏訪湖と触れ合う機会を創出するイベントを継続的に実施することで、市内外からの参加者に諏訪湖に興味を持っていただき、諏訪湖環境保全への意識醸成が期待できる。また、企業や団体と協働で実施することにより、民間活力の有効活用につながる。

＜今後の方針＞ ①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続  
④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

◎諏訪湖をテーマにした講演会の開催



◎諏訪湖環境保全事業

<アレチウリ駆除の様子>



<ヒシ除去作業の様子>



<カヤック利用による浮遊ゴミ除去の様子>

